

厚生労働科学研究費補助金（がん政策研究事業）
分担研究報告書

将来に亘って持続可能ながん情報提供と相談支援の体制の確立に関する研究

研究分担者 田村和夫 福岡大学総合医学研究センター

研究要旨

持続可能ながん情報を提供するための体制確立に向け、班会議にて体制の枠組み、発信する情報内容について、日本がんサポーターズケア学会を代表して参加・検討した。

A. 研究目的

がんに関連した症状・兆候ならびに支持・緩和医療領域の情報を継続的に発信できるように日本がんサポーターズケア学会が実施できることを検討する。

B. 研究方法

日本がんサポーターズケア学会の理事会にはかり協力体制について協議した。

C. 研究結果

日本がんサポーターズケア学会に設置された「患者・医療職部会」が中心となり17部会、4WGをあげて、がんに関連した症状・兆候、支持・緩和医療領域の情報の記載、改訂に協力することを決議した。

D. 考察

がんセンターと学術団体が中心となりがん情報を作成・改訂する体制を整えることが、アップデートしたタイムリーながん情報を継続的に発信できることになる。また、情報の作成・発信ばかりでなく、全国がん患者団体連合会に所属する患者・サバイバー・アドボケート等のがん関連団体の参加者を得て、医療者ばかりでなく、作成されたがん情報

を評価し、作成者にフィードバックすることが今後議論していかなければならない課題である。

E. 結論

継続的に日本がんサポーターズケア学会が本研究に参加・支援していく。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表 1. 論文発表 2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得 2. 実用新案登録 3. その他
なし